

緑の風 FAX版

NO. 84 2019年2月22日 JR東労組



JR 東労組ホームページ

2018年度 駅と電車内の迷惑行為ランキング

順位	(昨年)	迷惑行為項目	割合(%)	(昨年)
1位	(3位)	荷物の持ち方・置き方	37.3%	(29.8%)
2位	(1位)	騒々しい会話・はしゃぎまわり	36.9%	(33.2%)
3位	(2位)	座席の座り方	34.5%	(31.1%)
4位	(5位)	乗降時のマナー	34.3%	(28.1%)
5位	(6位)	ヘッドホンからの音もれ	23.2%	(20.1%)
6位	(-)	スマートフォン等の使い方 [新規]	21.5%	(-)
7位	(9位)	酔っ払った状態での乗車	15.4%	(15.3%)
8位	(11位)	車内での化粧	15.1%	(13.7%)
9位	(8位)	ゴミ・空き缶等の放置	14.2%	(16.0%)
10位	(13位)	混雑した車内での飲食	10.0%	(10.3%)

※「スマートフォン等の使い方」は、昨年は「歩きながらの携帯電話・スマートフォンの操作(昨年4位)」や「携帯電話・スマートフォンの着信音や通話(昨年7位)」としていました。

(出所)
日本民営鉄道協会

日本民営鉄道協会がホームページ上で「駅と電車内のマナーに関するアンケート」を実施した結果です。

1位の荷物の持ち方・置き方に関しては、背中や肩のリュックサック・ショルダーバッグ等がダントツに迷惑だと感じられています。

普段の生活で、迷惑行為ランキングにあるような行為をしませんか？お客さまに安心してご利用いただくには、業務中だけでなく、普段からの姿勢も大事ではないでしょうか。



みんなでマナーを守って
気持ち良い鉄道をつくっていきましょう！